

出展：福祉新聞（平成28年6月20日発行号）



施設の取り組み

知っほしい

横浜市

高齢施設の実践発表に2000人

20組の介護技術発表に関する意識調査な者を演じ事例を再現。表、147題の研究発どに耳を傾けていた。日ごろ施設で実践して表、92法人による就職 介護技術発表ではいるケアのポイントを相談などが行われ、約 「認知症ケア」「フロ 具体的に示しながら、2000人が訪れた。 発生時の対応」「口腔 介護技術を披露した。発表時の対応」「移動介護」の 「認知症ケア」の発表者が2日、横浜市内 介護現場での取り組み 4テーマについて、発表者数人で職員と利用 ユード」という技法を取り入れた組が、視覚・聴覚・触覚に調和的アプローチを試み、利用者の反応に変化を感じたケースを解説。「介護の根底にある利用者への優しさ」に技術的な根拠を見出すことで、動作を整理してケアに臨めるようになったと話した。

「離職防止の取り組み」がテーマの研究発表では、妊娠・出産・育児経験の有無から見る職員の意識の違いや、夜勤の免除、短時間勤務などの現制度が職員のニーズと合致しているかをアンケートで検証。男性より女性の方が理解を示す結果となった。発表者の男性は、「この会場にいる男性も是非考えてほしい。皆さんの理解が職場環境の改善を後押しする」と訴えた。

発表者が職員と利用者を演じて事例を再現した介護技術発表「認知症ケア」の様子